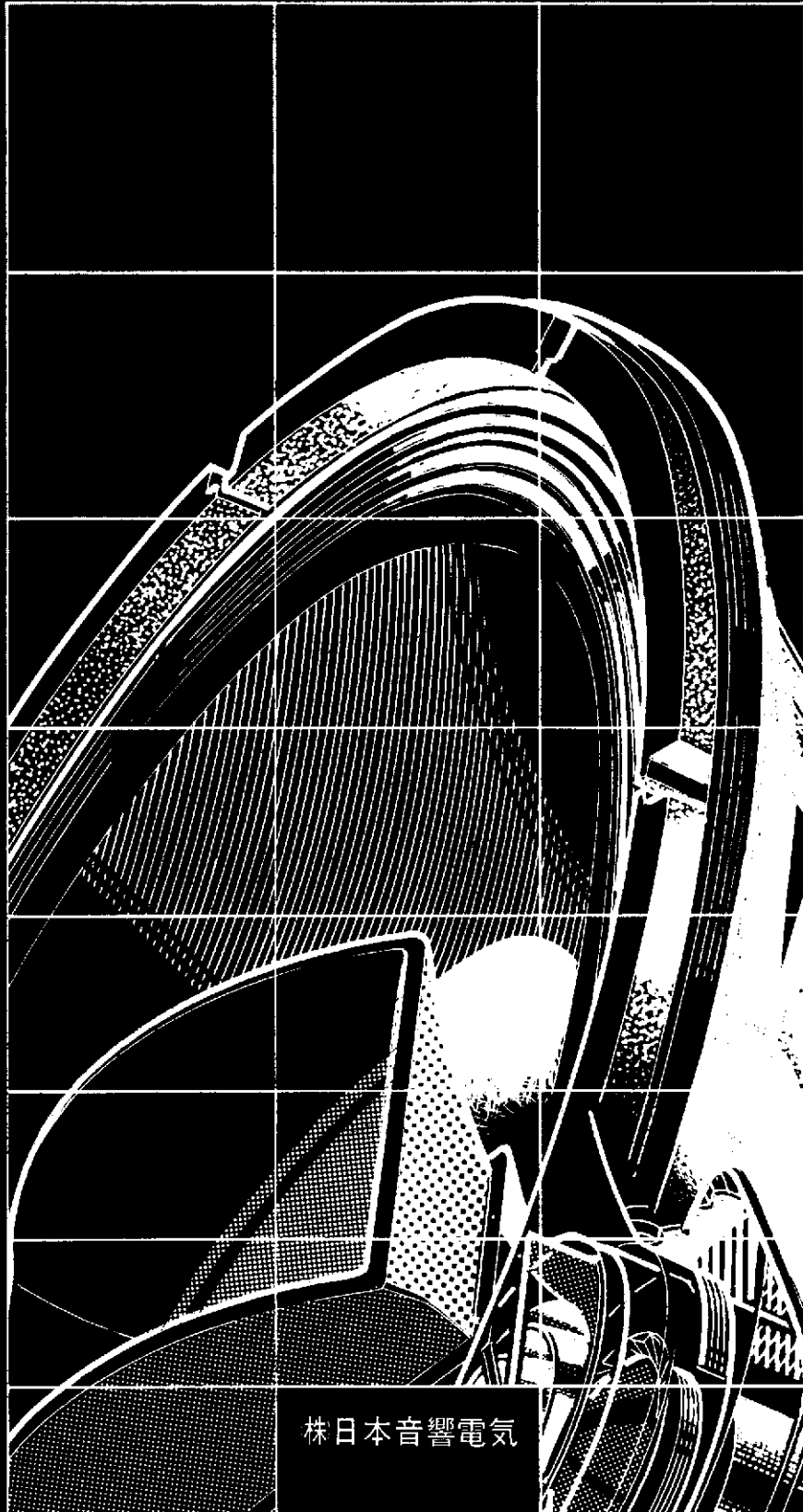


●プロが信頼するブランド

マクソニック
Maxonic[®]

マクソニック総合カタログ



株日本音響電気

株式会社日本音響電気は昭和7年、現社長住吉外一によって創立されました。

当時は主に拡声装置を製造していましたが、その意味すら理解してもらえず困難を極めました。戦時中は戦艦、空母、潜水艦内の司令装置、上陸用大出力司令装置（通達距離6km）又は航空機内の通話装置等陸、海、空軍の音響装置を製造していました。終戦と同時にGHQの財閥解体に伴い制限会社の指定を受けました。その後解除により一般向音響機器の製造と、進駐軍の軍用スピーカ、アンプ等の修理をしていました。

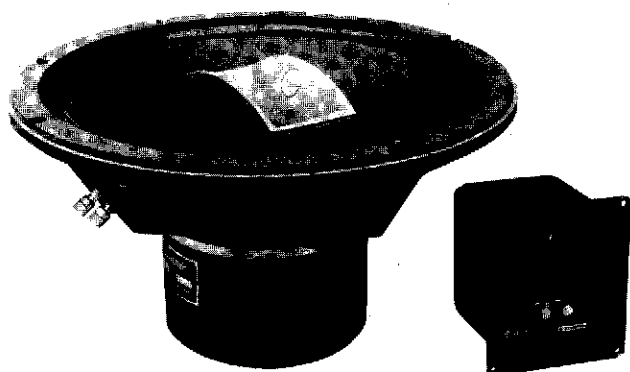
戦前からWE, RCA, ジーメンス等の特許及び資料を導入しこれを基に基礎研究を地道に続け、昭和45年量産品の製造をやめ、高級スピーカの製造に専念し「マフソニック」ブランドとして大型HIFIスピーカ、業務用（リインフォースメント）スピーカの生産、販売を開始し現在に至っております。

— 目 録 —

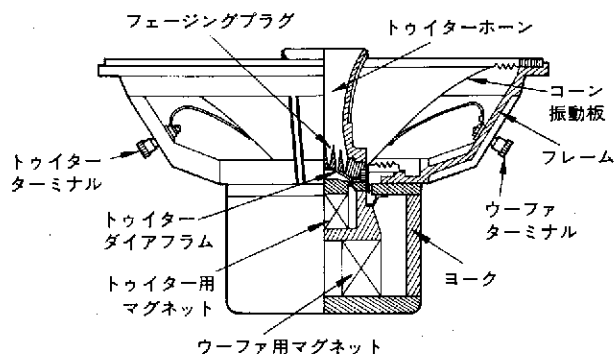
| | |
|--------------|----------------------|
| 同軸、同位相スピーカ | 中高音ホーン |
| 低音スピーカ | エンクロジュア |
| 高音スピーカ | スピーカシステム |
| 中高音スピーカ | スピーカ・ユニット・エンクロジュア組せ例 |
| ドライバー・ホーン組せ例 | |

同軸, 同位相スピーカ

Dual Speaker DS405



断面図



マクソニックデュアルスピーカDS405は、ウーファとツイーターのボイスコイルが同一面上に位置し、磁氣的にも、電氣的にも、機械的にも完全に独立したユニットで構成された同軸、同位相スピーカです。

理想的な音楽再生ではスピーカが原音を忠実にトランデュースしなければなりません。特にシビアな立体感のある音を再現するには、ユニット数の少ないシステムほど有利な訳で、点音源とも云えるシングルフルレンジスピーカが理想に近いこととなります。しかしシングルフルレンジスピーカのピストン運動を可聴帯域の上限まで満足するように広げることは不可能で、現在は分割振動をうまく利用して高音域を再生しているに過ぎません。また他の同軸スピーカも決して完璧な理想構造とは云えません。つまり同軸上から高音域、低音域が放射されてもその構造上ウーファとツイーターユニットのボイスコイルが前後に位置しており、音波に時間差、位相差が生じます。ところが超デュア

ルスピーカDS405はシングルフルレンジスピーカに見られる分割振動の悪影響を減らし、他の同軸型スピーカの持っているボイスコイル位置による悪影響をも無くした音像定位抜群のスピーカです。しかも非常に高能率で広大なダイナミックレンジを誇り分解能の良さと合いまって、ステレオフォニックな広がりを発揮します。厳格なプロ用モニターの標準機として、またトップレベルの家庭用音楽鑑賞スピーカとして充分にご満足頂けるハイグレードユニットです。

●専用ディバイディングネットワーク

このDS405の傑出した性能を100%引き出すには、相応の優れたディバイディングネットワークが必要です。そのため音質を最優先に考え、高性能部品を使用しています。クロスオーバー定数も理論計算値によるものではなく、試聴結果を重視し、カットアンドトライを重ねて決定されたものです。

●DS405規格表

| | |
|----------------|--------------|
| 周波数帯域 | 20~20,000Hz |
| 最低共振周波数 | 25Hz |
| 最大許容入力 | 100W |
| 出力音圧レベル | 98dB |
| インピーダンス | 8 オーム |
| 高音ユニット磁束密度 | 16,000ガウス |
| 高音ユニットボイスコイル直径 | 45%φ |
| 低音ユニット磁束密度 | 14,500ガウス |
| 低音ユニットボイスコイル直径 | 76%φ |
| 取付ピッチ, バッフル径 | 380%φ, 360%φ |
| 外形寸法 | 402%φ×230D%φ |
| 重量 | 15.5kg |

●ネットワーク規格表

| | |
|-------------|------------------|
| 最大入力 | 100W |
| インピーダンス | 8 オーム |
| クロスオーバー周波数 | 1,600Hz |
| 高音レベルコントロール | 連続可変(0~-50dB) |
| 型式 | LC型 |
| 外形寸法 | 122W×140H×117D%φ |
| 重量 | 1.2kg |